

広 報

# ふじかわ

## 町のメモ

昭和62年7月1日現在  
人口 16,936人  
増減 +1人  
男 8,345人  
女 8,591人  
世帯数 4,417世帯  
面積 31.09km<sup>2</sup>

7月号 昭和62年7月4日発行 No. 312

富士川町 総務課



また、カツパの  
季節がやってきた

町のここの目標

「健康な心とからだに住みよい町に」

# 6月定例会 地方道路整備・ 農道開設事業を中心に 7,384万9千円を補正 一般会計予算は、28億6,084万9千円

町議会の6月定例会が、6月25日(木)午前9時から議場で開会されました。常葉雅文町長の一般行政報告のあと、当日提案された議案は、補正予算二件、条例の一部改正二件、規約の一部改正二件、国民の食糧を守り、農業再建に関する意見書一件の計七件で、慎重に審議された結果、すべて原案どおり可決されました。

今回の一般会計補正予算は、地方道路整備、農道開設事業を中心に七千三百八十四万九千円を補正、これに要する経費は、国・県支出金、繰越金などを充当し、予算総額は二十八億六千八十四万九千円となりました。なお、一般行政報告、一般会計補正予算、可決された提出議案は次のとおりです。

## 町長の一般行政報告



一般行政報告する常葉町長

### ◎昭和62年度投資的事業執行計画について

当町におきましては、第二次総合計画「緑と碧と光のある町づくり」を目指して、昭和62年度予算執行をいたしておりますが、投資的執行計画を第1四半期五五%、第2四半期二九%、第3四半期一三%、第4四半期三%とし、上期で八四%と国県の執行率を上廻る積極的な対応を予定しています。

未完成を目指し、工事に着手しています。町営土地改良事業としての「中之郷農免農道」事業は、四十九ノ中之郷農道までの中の郷分が、中之郷一期として延長一、一七二メートル、事業費三億九百万円で採択となり、本年度事業についても、すでに内示があり、予定ルートの地権者に説明・打ち合せ会を開催し、大筋で計画の賛同を載せ、順次積極的

に実施していく所存であります。◎富士川橋幅と県道身延線バイパスについて 慢性的交通渋滞の緩和を図るべく「国道一号线坂下交差点改良及び富士川橋架設工事」については、昭和63年3月完成を目指し進められておりますが、現在、橋梁本体を工場製作中で、現場での工事は11月よりマウンドを造成し、トラス橋(本体)を仮設する橋台の設置、本橋の組み立てを行い、来年3月下旬に一週間の全面交通止をして架橋する予定で工事が進められております。交差点改良は、同地先の富士川身延線の改良部分の関係地権者の協力を得て移転作業を進めており、工事は12月より着工し、富士川橋架設工事と併せ交差点改良工事を完成する

予定となっております。工事が重複し、一時期には通行止等、町民のみなさんには、長年の夢とはいえご迷惑をお掛けすることがありますが、ご理解ご協力をお願いいたします。県道富士川身延線バイパスの早期完成は、重要な課題であります。岩淵工区においては、移転を重点に進めてまいりましたが、松野工区につきましては、地主みなさんのご理解、ご協力をいただき、又松野地区バイパス建設促進期成同盟会のご援助を得て、推進しているところであります。議員各位、地元のみなさん

### ◎人材センター「シルバーク富士川」について

特段のご理解、ご協力をお願いいたします。

### ◎間伐総合対策促進について

当町は、町域の五三%が林野であり、昭和60年現在の森林面積は、一、六三三ha、うち人工林が一、三三〇haでほとんどが民有林であります。

戦後、造林が行なわれてきましたが、その大半は、現在、間伐を必要とする林齢に達している反面、間伐実施状況は、諸経費の増高、基盤整備の立ち遅れ、高齢化の進行等、林業をとりまく厳しい諸情勢に加え、森林所有者の多くが間伐未経験であること、森林が分散し生産コストが割高であること、間伐材の流通加工体制が未整備であること等により極めて不十分な状況にあります。

健全な森林の造成、また、単に森林の育成のみでなく山林のもつ特性を考慮、今後、間伐対象林分を重点地域と定め、間伐の必要性、展示林等の啓蒙活動、また、森林所有者の経営内容を十分把握し、計画的・集団的に推進すべく補助事業など積極的に取り入れ実施していきたいと思っております。

◎昭和61年度一般会計予算の出納閉鎖の概要について 昭和61年度の予算執行については、5月31日をもって出納閉鎖しましたが、一般会計での決算見込額は、歳入三十六億一千五百四十四万四千円、歳出三十三億四千三百一十七万七千円で差引残額は二億七千二百八十七万七千円です。また、町税の収納率は九九・三〇%(前年度は九九・三六%)となっております。

### 婦人会など多勢の人が傍聴しました



5月中の受付は二十件あり、会員の稼働は、六二・五%(二十人)、稼働延日数二二六日、稼働延人数一三三人、一日平均派遣人数は五七人でありました。多くの高齢者の支えになるよ

したが、その大半は、現在、間伐を必要とする林齢に達している反面、間伐実施状況は、諸経費の増高、基盤整備の立ち遅れ、高齢化の進行等、林業をとりまく厳しい諸情勢に加え、森林所有者の多くが間伐未経験であること、森林が分散し生産コストが割高であること、間伐材の流通加工体制が未整備であること等により極めて不十分な状況にあります。

◎新幹線富士駅設置について 広域的な交通ネットワークの新幹線富士駅設置工事も順調に進捗し、ホーム上家の建方も完成、7月からは駅本屋工事の着工をする運びとなり、明春3月の開業に向かって諸準備が整いつつあり、事業費百三十二億四千四百万円、財源計画の一部変更がありますが、基本的には当

◎静岡県市町村非常勤職員公務災害補償組合規約の一部を変更する規約について 静岡県市町村職員退職手当組合規約の一部を変更する規約について ◎国民の食糧を守り、農業再建に関する意見書

### 一般会計補正予算のおもな内容

議会費	百四十二万四千円	農林水産業費	二千二百八十五万七千円
総務費	二百八十八万二千円	商工費	五十万円
民生費	百五十一万六千円	土木費	四千三百万円
衛生費	百三十二万円		
教育費	百五万円		

特集

町民の本棚  
図書室について考える

利用状況  
町民  
一人当りは  
1.03冊に

富士川町中央公民館図書室は昭和60年11月に開館して、現在一年七カ月が経過しています。町民の皆さんの本棚として、お気軽に利用していただけるよう蔵書の充実をはじめとし、「おはなし室」の「読み聞かせ会」や「お母さんの勉強室」など、図書室の向上に努めてきました。

皆さんの図書室  
お気軽にご利用ください



おはなし室での子どもたち

利用者の声



池田知文さん  
(相生町)

私は家が図書室の近くなので土・日曜日を利用して、二人の子どもといっしょに本を借りたりして利用し、時間に余裕があると歌碑公園で遊んで帰ってきたりします。

図書室は雰囲気明るく新刊書も多くあり、自分自身の本を選び、子どもは子どもで本を選んで、図書室が親子のコミュニケーションの場となっています。

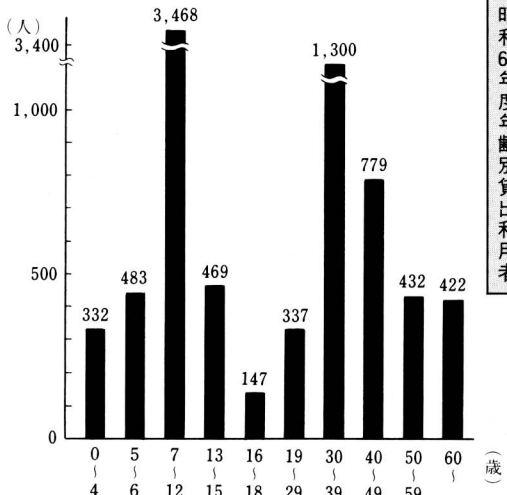


曾我知子さん  
(東町一)

童話が好きで、一カ月に二三回来て、本を借ります。本を選んで借りることも好きだけど、本がたくさんあるので、机に坐って本を見たり、おり紙を折ったりすることが楽しい。

図書室の利用は…

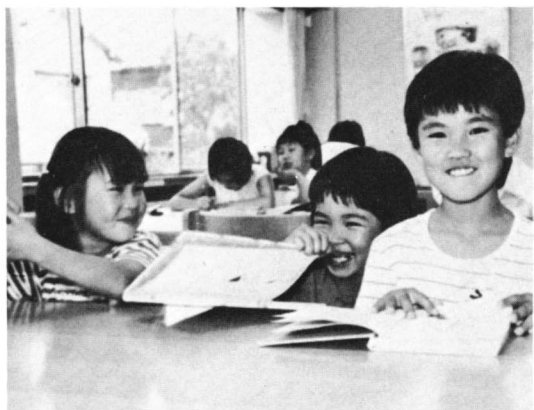
昭和61年度の利用状況をお知らせします。貸出し冊数は、一万七千三百七十三冊です。これを町民一人当りにすると一・〇三冊になります。大人の本と子どもの本では、子どもの本が多く貸し出され、一般では三十代～四十代の主婦層が多く、これがこの図書室の特徴となっています。また蔵書冊数は、新規購入分八百四十三冊



昭和61年度年齢別貸出利用者

図書室を利用される場合は他の人の迷惑にならないよう静かにする、本を大切に扱う、二週間の返却期日を守るなど、マナーを守り、皆さんの図書室を育てていきましょう。開館当時、申し込まれた方の図書貸出券を預けていたため、お早めに図書室まで、おいでください。これからも、皆さんの多様な意見・要望にこたえられるよう、努力していきたいと考えています。

中央公民館



を加え、一万二千三百七十四冊になりました。これを住民一人当たりになると、一人約〇・七冊の蔵書を持っていることとなります。これまで貸出しカードを作っている人は、二千三百四十八人で、住民全体の十三・九%の人しか、図書室の借出しカードを持っていません。図書室では、借出しカードを持っていないくても、利用はできますので、どうぞお気軽にご利用下さい。



郷土作家コーナー充実

展示コーナーには、町内在住者や出身者の著書を集め紹介する郷土作家コーナーを設けています。

分類	著者名	著者
歴史	富士川渡船秘史 (他三点)	大村文夫
医学	長生きのために (他二点)	秀村敏朗
芸術	支那美術史彫塑篇 (他二点)	大村西崖
	造形教育百の実践	太田昭
	山水美の世界	甘露寺雄次郎
	釣り場にて	田中祐三
	川流集	天野寛
文学	小川アンナ詩集 (他二点)	小川アンナ
	詩集 菜園 (他一点)	遠藤進夫
	句集 破草鞋	小澤素良
	句集 田神	浦田宏
	勿忘草	影島智子
	句集 病院船野戦病院	大嶽康子

こどもの本棚



おおきな おおきなおいも



はじめてのおつかい



いないいないばあ

待ちにまつたいもほりの遠足の朝の雨。あきらめられない子どもたちが共同で描いた大きなさつまいもをめぐって、空想が無限に広がっていく愉快なお話。赤羽末吉作・絵

子どもにとって、はじめての経験。身近な題材から子どもが感ずる不安と喜びが生き生きと描かれています。筒井頼子作、林明子絵

「いないいない……ばあ」の伝承あそびを絵本化した作品。言葉はリズムカルで、動物たちの表情がゆたかに描かれて、赤ちゃんから楽しめる。松谷みよ子作、瀬川康男絵

私は、昼間、時間的に余裕があるので、暇をみつけては、吉津からバイクに乗り、図書室を利用します。図書室には色々なジャンルの本があるので、乱読の私には好都合の場所です。

**立花好さん**  
六百冊の本寄贈

旭町の歯科医師立花好さんは今年二月に亡くなった父立花平次さんの五百七十八冊の蔵書を「町民のみなさんのために活用を」と図書室に寄贈されました。図書室にこれほど多くの本が一度に寄贈されたのは初めてで、大正から昭和四十年代にかけての文学・美術全集が多く、中には夏目漱石の「彼岸過迄」、初版本や大宰治の「晩年」初版本など手に入りにくい貴重な本も多数含まれています。

図書室では現在、分類別に整理し、一日も早く皆さんが利用できるよう、作業を進めています。なお、「日本古典文学全集」は、本棚に並んでいます。





# フォトピックス

松野地区 ふるさと教室で、6月12日(金)にますやはの釣り大会を、3年生以上の小学生を対象に行いました。



## ▲ふじかわ寄席 古今亭志ん朝独演会

6月24日(水)午後6:30から中央公民館大ホールで行なわれ、満員の盛況でした。会場は志ん朝の話に引き込まれ、笑いの渦が広がりました。



## ▲町立第二小学校 泥だらけで田植え(6月13日)



宇多利児童館で(6月21日)心をこめて父の日のプレゼント作り

第27回 婦人バレーボール大会  
6月14日(日)、社会体育館で行われ、新町四十九、富士松野、東町、本通りの4チームが郡大会に出場します。



## ▲消防団査閲大会

6月21日(日)、県消防学校で開かれ、当町は大型ポンプ車操法と小型ポンプ操法に出場し、練習の成果を発揮しました。

# 郡子ども自転車大会 安全走行競う

二小優勝、個人清水直輝君(二小)



特訓の成果を披露し  
確認動作もきびきびと

6月13日由比町立由比小学校で、交通安全協会蒲原地区支部主催の「第十七回子ども自転車庵原郡大会」が行なわれ、郡内五校、十五チームが参加し、練習の成果を競い合いました。この大会は、交通事故防止のため、自転車の安全な乗り方教育を通じ、交通安全を日常生活の中で習慣づけていくことを目的としています。当町から出場した二十四人の選手は、五百点満点の学科・実技試験に真剣に取り組み、緊張して、交差点での安全確認を忘れたりする選手もいましたが、全員最後までがんばりました。成績は、団体の部で二小Aが優勝し、二位、三位に一小が入り、上位を独占しました。個人でも清水直輝君(二小)が優勝し、二位は渡辺英利君(一小)でした。優勝した二小チームは、七月二十九日の県大会に出場します。

# まちの広場

## シルバー富士川 活発に活動しています

五月号で「シルバー富士川」の創立総会及び役員紹介をしましたが、本号では活動状況をお知らせします。

五月の受付件数は二十件で、内容は町の公共施設、例えば中野台遊歩道、河川敷グランド、第一公園等の清掃を兼ねた草取りや草刈り、各企業では場内の植木の手入れや除草などをはじめ、ペンキ塗り、倉庫の整理、簡単な木工修理(パレットの組み直しなど)、一般家庭では、庭木の剪定、草取りなどで、会員の皆さんも各自の能力や経験に従って各種の仕事に生甲斐を感じ



作業する額にも汗がにじむ

## 親子スポーツ教室が人気 遊びを通して集団生活学ぶ

町教育委員会主催の親子スポーツ教室が、富士川地区は社会体育館、松野地区は町立第二中学校体育館で、十月まで十回の予定で始まりました。

この教室は、当初三十組ずつ六十組の親子を募集したところ八十二組の申し込みがあり、教育委員会では募集の枠を広げ、申し込み者全員(三・四歳児とその親)を対象に、運動神経の形成と仲間づくり、親と子のスキップを育てるなどの幼児教育を大きな狙いとしています。町体育指導員兼トリム指導者の増田玲子さんの指導のもと、最初は様子が変わらず、とまどっていた子どもたちも、お母さんといっしょになって動き回り、肩たたき、ジャンプ遊び、



お友だちと握手できたかな

い、内容の充実を計画しています。町内の高齢者のみなさん、御協力をお願いします。」と話していました。

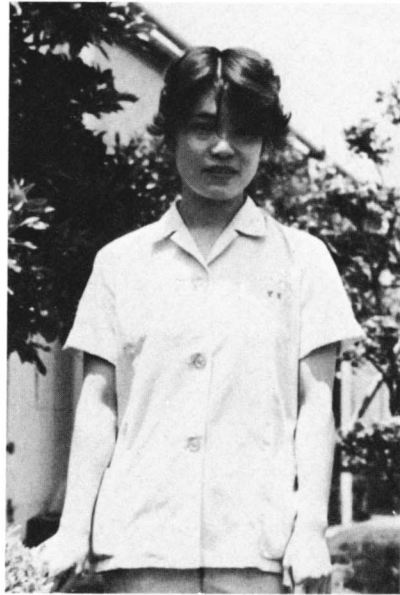
またお母さんの背中や肩による登る運動など、楽しそうな声が体育館に響いていました。「快い汗を流したお母さんは、子どもが一人なので、同じ年頃の子とも遊ばせたい。子どもにも、私にも友だちができてほしいですね」と話していた。

老人福祉センター内  
シルバー事務局(81-1111)



会社では、製造工程の仕上げの検査を担当しています。望月さんはこれまで、ジャズダンス、テニス、スキー、ゴルフなどのスポーツに親しみ、旅行好きで、この夏は北海道へ行く計画を立てています。現在は手編みに凝り、暇を見つけては編み棒を動かしています。「結婚したら、子どもは三人ぐらい欲しく、家族団欒の時間を大切に、子どもに自分の編んだものを着せたい」と楽しそうに語ってくれました。

### 望月裕子さん (南町二) 本州製紙岩淵工場勤務



#### 6月の交通事故

人身事故	6件(1)	合計	17件(7)
物損事故	11件(6)		
富士川身延線	5件(1)		
国道一号线	5件(3)		
町道	5件(3)		
県道	2件(0)		
その他	0件(0)		

( )は昨年



華やかな絵と池谷さん

「これまでの自分をすべて見てほしい」という出展作品は、三十一点。代表作のル・サロン展受賞「踊る猫」、太陽展受賞「猫と私」、県芸術祭奨励賞「領分」など百号の大作もありました。小品には花・人形が多く猫かかれていてピン



絵画教室で子どもの魅力に感動

### 池谷佐和子さん 初めての個展開く

5月28日から6月2日まで舟山町の池谷佐和子さんが、みしまプラザホテルのギャラリープラザで初めての個展を開き、大勢の人が来場しました。池谷さんは昭和46年から佐野美術館友の会洋画部の会員として絵筆を執り始め、太陽美術協会会員、県油彩美術家協会会員でもあり、町の児童館の絵画教室の先生でもあります。

「これまでの自分をすべて見てほしい」という出展作品は、三十一点。代表作のル・サロン展受賞「踊る猫」、太陽展受賞「猫と私」、県芸術祭奨励賞「領分」など百号の大作もありました。小品には花・人形が多く猫かかれていてピン

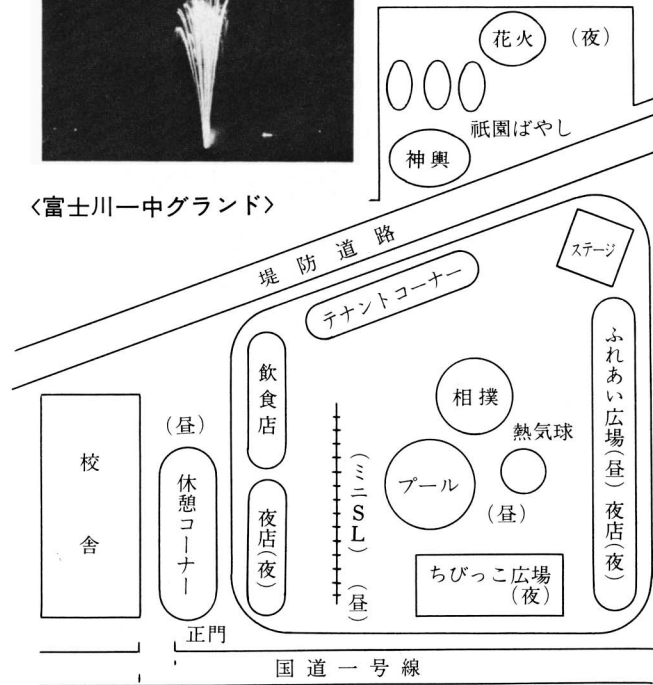


夏の夜を彩る花火大会

## みんなで参加、みんなで作ろう ふじかわ夏まつり 8月9・10日

### 英知と活力を 結集しよう

八月十日朝、NHKのラジオ体操が富士川第一中学校グラウンドから全国中継されることになり、商工会の納涼夜店市、花火大会、町社会福祉協議会主催の「ふれあい広場」、農協の朝市を統合した第一回ふじかわ夏まつりが、八月九、十の両日一中グラウンドでにぎやかに繰り広げられます。



### イベント

- 9日
  - ふれあい広場
  - バザー、相撲大会
  - ちびっこ広場
  - 熱気球、ミニSL、プール
  - 夜店市
  - バザー、飲食コーナー
  - 花火大会
- 10日
  - NHKラジオ体操
  - 農協の朝市
  - スターメイン、ナイヤガラ
  - 等多数の花火を打ち上げます。
  - ②サービスタッフ 祭りの準備、当日のサービスを行う。
  - ③祭りに関するイラスト 中学生以下が対象。はがきに書いて郵送して下さい。当日パネル展示、優秀作品を表彰。締切りは七月二十五日
  - ④撮影会 祭りの二日間の様子を写真にて応募下さい。後日、中央公民館にて展示、表彰。
  - ⑤カラオケ出場者(9日) 郡内在住者、または郡内事業所に勤務している方で、二十五名。(多数の場合は予選)
  - ⑥花火基金(9日) 一般から花火用資金を募集するもので、ご協力をお願いします。基金は商工会窓口で受け付けます。

### ラジオ体操放送(NHK)

8月10日(月) 町立第一中学校グラウンド  
みんなで参加しましょう

- (1)参加団体等(9日まで) 当日、バザー・演芸など催し物を希望する団体
- (2)まつりスタッフ(9日まで) ①アシスタントレディー 十六歳以上の女性で、受付イベントアシストを行う。
- (3)サービスタッフ 祭りの準備、当日のサービスを行う。
- (4)撮影会 祭りに関するイラスト 中学生以下が対象。はがきに書いて郵送して下さい。当日パネル展示、優秀作品を表彰。締切りは七月二十五日
- (5)カラオケ出場者(9日) 郡内在住者、または郡内事業所に勤務している方で、二十五名。(多数の場合は予選)
- (6)花火基金(9日) 一般から花火用資金を募集するもので、ご協力をお願いします。基金は商工会窓口で受け付けます。

問合せ及び申込み  
ふじかわ夏まつり運営委員会  
事務局(富士川町商工会内)  
住所 富士川町岩淵六の三  
電話 0545(8)1280

# 戸籍の窓

S 62・4・15〜5・14届出分

## おめでた (敬称略)

区名 氏名 保護者続柄  
 幸町 栗本恵美 文雄 長女  
 S 62・5・15〜6・14届出分

## おめでた (敬称略)

木島 松下美里 好幸 長女  
 上町 志村尚樹 治 二男

## 一里塚



私が富士川町の職員となつて三カ月が過ぎようとしている。これまでは高校生ということで何かと甘い部分が多かつたがこれからは、自分の責任で物事を処理していかなければなりません。

6月8日から12日まで、自治研修所で初任者研修を受けました。その中で「自分の町の紹介」と題して三分間スピーチをやる事になり、これまで十八年間に住んできた町なのに、改めて紹

富士松野 角田直哉 宜博 長男  
 俣下町 深澤絃子 芳宏 長女

## かなしみ

川坂 簀祐太郎 義仁 長男  
 四十九町 芦川文那 勝巳 二女  
 宮町 澁谷梨絵 明宏 長女  
 宮町 青野剛佳 元信 長男  
 本通四 石岡祐希 克也 長男  
 東町一 吉田彩香 康夫 二女  
 東町一 宇田愛奈 祐三 長女  
 東町二 太田真一朗 好政 長男  
 南町二 菅谷侑太郎 勝芳 長男  
 富士見町 國本真耶 亮一 長女  
 八幡町 川口ともゑ

## お母さんの知恵袋

### 救急箱の点検を

一年中で最も救急車の出勤が多いのが七月、八月だそうです。それほどでなくても夏は下痢、夏風邪などで子供が熱を出す場合も多く、素肌の露出度の高いこの時期、けがや虫に刺されたりする事も多くなります。常に、そうした時の応急処置をマスターする事が必要だが、同時に救急用品を点検しておくことも大切です。

介となると一瞬考えてしまつた。私たちの町は伊豆のように観光地ではないが、富士川町には富士川町独自の良さがある。

例えば、旧東海道一里塚、百八反の大観音、眺望の美しい野田山・はたご池ハイキングコースなどの名所・旧跡があります。役場に入り、富士川町にもたくさんの環境のよい場所があることを痛切に感じ、このよい環境でいつまでも生活できるように、富士川町の町民又、役場の職員として努力していきたいと思ひます。

町への寄付金 (敬称略)

氏名	金額	氏名	金額
清水 雅信 (富士見町)	十万円	若月 正義 (川坂)	三十万円
社会福祉協議会への寄付	S 62・5・20〜6・2	斉藤千津子 (東町二)	八万円
渡辺貴美子 (堺町)	八万円	斉藤秀子 (上町)	八万円
佐野みつ子 (大北町)	八万円	植松照子 (小山)	八万円
佐野満寿 (八幡町)	八万円	小林富子 (南町二)	八万円
滝 貞子 (舟山町)	八万円	佐藤はな子 (宮町)	八万円
市川まち子 (南町一)	八万円	風岡歌子 (俣下町)	八万円

## 俳句会

〈文協俳句会〉

宮町 増井 冬木  
 真直ぐに汽車の截りゆく青田かな  
 南町二 法月 幸子  
 敦盛草山の深さを負ふてをり  
 大北 天野 たま  
 桑解きて畑に光りをばらまけり  
 旭町 笠井みち子  
 洗濯機使わぬ吾に蝶まよふ  
 新町 秋山 光恵  
 四十雀図鑑にさがす夕餉前  
 本通り 小長井敦子  
 たまさかな林道に来て四十雀  
 新町 山本まさ子  
 風にのり風にのりかへ揚羽蝶  
 南町一 錦織 和子  
 九輪草三戸残れる過疎の村  
 新町 早川 和子  
 年年に塩を減らして梅漬ける  
 新町 漆畑 文江  
 山頂の一瞬の霧たら芽伸ぶ  
 宮町 望月 章子  
 巢組みたる藁にまじりて赤き紐  
 岩 淵 大石 営子  
 人去りて病室占むる夕薄暮  
 南町一 佐野美代子  
 大カーブして山百合の白ゆらす

婦人会 (望月)